

# うるま

## 市議会 だより

第43号

平成28年(2016)  
発行 3月15日

桜が咲きました。春も近いです。

### 一般質問(12月定例会)

12月定例会には27名の議員が市政全般について一般質問を行いました。本紙面は、「市議会だより」申し合わせ事項により掲載されています。

紙面の都合上、簡潔な表現になっております。

なお、詳しい内容については市議会会議録を自治公民館、市内図書館、議会事務局、議会ホームページでご覧ください。

### 目次

一般質問	2
第99回12月定例会議決結果	16
第100回1月臨時会議決結果	17
第101回2月臨時会議決結果・抗議決議	18
教育福祉委員会行政視察	19
新庁舎完成	20

■発行:うるま市議会 ■編集:議会広報編集調査特別委員会

住所 〒 904-2292 うるま市みどり町1-1-1 電話 098-973-3511 FAX 098-973-8123





一 伊波メンサー織について  
 二 教育委員会の組織機構の見直しについて  
 三 資金運用及び調達のマネジメントについて  
 四 農業振興について  
 五 地方創生に向けたうるま市の地方版「長期ビジョン」と「総合戦略」について

なかもと たつお  
 仲本 辰雄

一 伊波メンサー織について

質問 ①国指定文化財を目指す考えがないか②伝統的工芸品指定への可能性を伺う。

答弁 赤嶺教育部長 ①保持者及び団体等の安定した組織で、技術の保護、伝承が行われた後に県・文化庁と連携し、指定に向けて取り組める。

答弁 上間経済部長 ②全ての要件を満たしている。

二 教育委員会の組織機構の見直しについて

質問 教育委員会は義務教育に特化するべきである。文化振興係、生涯スポーツ課、施設課の市長部局への移管について見解を伺う。

答弁 赤嶺教育部長 県の組織編成を参考にし、新庁舎建設後に再検討を予定している。施設課の建設部門への統合は平成27年度以降、早急に検討する。

三 資金運用及び調達のマネジメントについて

質問 運用は安全性と効率性を持つ国債、地方債などに限定して収入増を図る。調達には、利息軽減を主眼にする方針を定める必要があると思うが。

答弁 喜納企画部長 公金保護及び指定金融機関等に関する課題検討委員会の中で、資金運用の今後の方向性を議論していきたい。資金調達は、今後の財政状況や年度間の財政負担の平準化も考慮し検討していきたい。

四 農業振興について

質問 農業振興ビジョンに盛り込む施策として、地域の土壌に合った作物を市全域で栽培する作物に指定。多品目の有機野菜を栽培し、消費者と飲食店に直接販売。野菜加工業者やスーパー、レストランなどに直接卸す契約栽培、契約販売。定時定量が供給できる倉庫の整備。農業生産法人の育成に力を入れていく必要があると提言する。

答弁 上間経済部長 農業振興には栽培から販路確保までの一貫した施策が必要であるという考えは、販売戦略として重要な優先課題である。提言は検討を重ね、必要性を検証し策定していきたい。

五 地方創生に向けたうるま市の地方版「長期ビジョン」と「総合戦略」について

質問 移住者や若者に仕事があることは、定住を決定する関係にある。コンパクトEV自動車と海産物の養殖及び島嶼地域での介護施設整備は仕事づくりに大きな役割を担うと思うが。

答弁 喜納企画部長 自動車整備工場や電気事業関係者等と連携を図り、コンパクトEVを製作する体制の構築ができるよう取り組んでいきたい。海産物の養殖は、可能性について、関係部署で検討していきたい。島嶼地域での介護施設整備は、仕事づくりに大きな効果が期待できる。



一 字具志川東具志川郵便局前バス停留所の上屋の整備に関連する事項について  
 二 字具志川アカザンガの整備と港原地区かんがい排水整備事業に関連する事項について  
 三 津堅島の環境整備に関連する事項について  
 四 建設業行政に関連する事項について

きんじょう かつまさ  
 金城 勝正

一 字具志川東具志川郵便局前バス停留所の上屋の整備に関連する事項について

質問 バス協会に整備していただくよう強く要請できないか。

答弁 上門市民部長 具志川郵便局前バス停留所の上屋については、不便な状況は理解しており、沖縄県バス協会へ要請していきたいと考えている。

二 字具志川アカザンガの整備と港原地区かんがい排水整備事業に関連する事項について

質問 農家の負担のない事業にしてほしい旨の要望が寄せられていることから、当局にはその旨をしつかりと検討するようお願いしたいと同時に、農家の要望を叶える全体計画にするよう県に要望できないか。

答弁 上間経済部長 さまざまな視点から検討していきたいと考えている。また県に対しては、事業の実施に向けて順次要請を行っていききたいと考えている。

三 津堅島の環境整備に関連する事項について

質問 ホートウガーについては、危険回避の観点からも優先課題として整備できないか。

答弁 宮城建設部長 ホートウガー階段手すりの危険回避については、優先課題と受けとめており、本格的な整備は、キャロット愛ランド遊歩道の全体整備計画とあわせて整備できないか地元自治会をはじめ、関係部署と調

四 建設業行政に関連する事項について

整し検討していきたい。階段手すり等の安全対策については、仮設的ではあるが早急に対応したい。

質問 市当局が建設業者連合会を中心とした民間との忌憚ない意見交換会や技術研修会等を通じて、諸般の課題を改善していくと同時に、真に信頼関係を構築し、市長が提唱する市民協働のまちづくり、民間とのパートナーシップを体現することにより、うるま市の建設業行政の充実を期待するものである。副市長の見解を伺う。

答弁 榮野川副市長 今後とも積極的に意見交換会等を含めて対応していきたい。

質問 市長の見解を伺う。

答弁 島袋市長 さまざまな課題解決については、公共工事の適正な執行と質の高い市民サービスを確保するということから、日頃より行政と建設業連合会とは共通課題を認識しながら、問題点を共有して解決につなげていくことが重要だと思っている。今後とも質の高い公共サービスの維持改善に努め、建設業界とも連携を密にしながらか、うるま市の発展を目指して市政運営に努めていきたい。

※他に「うるま市農水産業振興戦略拠点施設整備事業」に関連する事項について「質問しました」。



たまえ  
玉榮 登次

- 一 大田バンタ復興について
- 二 子育て支援や若者夫婦への生活支援について
- 三 マリンスポーツ振興と活性化について

一 大田バンタ復興について

**質問** 大田区から公園や広場の設置を要望する声が上がっている。ウフタバнтаの利用価値を検証し、広場として活用することを提案するが、所見を伺う。

**答弁** 島袋都市計画部長 大田バンタは、崖上の地形を有し、傾斜や高低差が大きいことから、公園としての利用形態や技術的な面から整備が難しい状況にある。

**質問** ウフタバントに隣接するウフタバを文化財として復興することで、歴史・文化を学ぶ場として価値の高い場所になり、地域活性化にもつながる。整備し活用することが望ましいと考えるが、市の対応を伺う。

**答弁** 赤嶺教育部長 地すべり等で石畳を覆っている土砂の除去、のり面の保護、階段設置等を検討しており、今後、関係部局と調整し対応したい。

二 子育て支援や若者夫婦への生活支援について

**質問** 国内では少子高齢化と人口減少が問題となっており、地方自治体では出生率の回復と人口増加に向けたさまざまな取り組みの事例が出ている。子育て世帯や若年夫婦を対象とした支援制度が必要と考えるが。

**答弁** 喜納企画部長 島嶼地域を重

点とした移住促進奨励金交付事業や移住者を対象とした空き家を有効活用した住宅整備等も総合戦略に施策として位置づけ、取り組んでいきたい。

**三 マリンスポーツ振興と活性化について**

**質問** 東京オリンピックで、サーフィンが追加種目として選考されたことにより、マリンスポーツやマリネジャーの普及と活性化が進むと見込まれている。さらなる観光客数の増加に向けた取り組みとして、マリンスポーツやマリネジャーの促進に関する施策が必要と考えるが。

**答弁** 上間経済部長 マリンスポーツの振興と活性化は、観光振興における重要な施策の一つと考えている。

**質問** 本市にマリンピック等の海洋イベントの誘致、また市独自のマリンスポーツを促進するイベント等の企画各種支援の充実を提案するが、市の対応を伺う。

**答弁** 上間経済部長 マリンピック会場については、これまで開催実績のない競技もあり、会場として適切かの検討を要する。マリンスポーツの促進イベント開催等も含め、実施方法、実施体制などを再構築していく必要があり、次期観光振興ビジョン等の策定過程の中で議論していきたい。



まうだ  
松田 久男

- 一 うるま市組織機構の改編について
- 二 農道整備について
- 三 石川地区の公園整備について

一 うるま市組織機構の改編について

**質問** 来年4月からの組織改編において、教育部施設課は現状のままだが、その理由は何か。

**答弁** 赤嶺教育部長 事務レベルでは移管の方向で検討しており、平成27年度以降に検討するとなっている。

**二 農道整備について**

**質問** 石川川上流両側の農道が劣化している。農家からの要望があるが、直せないか。

**答弁** 上間経済部長 河川管理用道路併用となるため、市単独での整備は厳しいが、県へ整備要請を行いたい。

**質問** これまでの県への要請、結果等を伺う。

**答弁** 上間経済部長 平成26年7月に県中部土木事務所河川班と現場立ち会い際に口頭で要請した。

**質問** 県は河川管理に使用しているので強く要望できる。前回は口頭でやったため要望の強さが伝わらなかったのではないか。

**答弁** 上間経済部長 利用者の安心、安全を確保するためにも、県に強く整備要請していきたい。

三 石川地区の公園整備について

**質問** 石川地区の白浜公園と多目的運動場は、夜間にウォーキングする人が以前より減っている。原因の一つは照明が暗くなったせいではないか。照明を夜10時まで点灯できないか。また照明を増やせないか。

**答弁** 島袋都計部長 現在、公園に隣接

する市道白浜線の改良工事を計画しており、照明についても併せて検討したい。

**質問** 工事により公園は大分削られるのか。

**答弁** 島袋都計部長 公園面積は維持する。

**質問** 海辺の防風林付近も真っ暗である。

**答弁** 島袋都計部長 計画の中で検討したい。

**質問** 公園を良くするために中高年向けの健康遊具の設置を計画に反映できないか。

**答弁** 島袋都計部長 今後、公園外周計画の際に検討していきたい。

**質問** 石川ビーチで子や孫ともう一度泳ぎたいとの要望がある。ハブクラゲ防止ネットを再設置できないか。

**答弁** 島袋都計部長 ネットの費用や維持管理費が高額となるため再設置は厳しい。

**質問** 要望があれば検討する価値はあるのではないか。

**答弁** 島袋都計部長 関係機関との協議を要し、公園改修の際にどのようなことができるか検討したい。

**質問** 陸上トラック側の噴水が壊れている。藻が発生し雑草が伸び放題になっている。暑い夏の日には子供と遊びたいという母親達の要望がある。噴水を直せないか。

**答弁** 島袋都計部長 送水ポンプの故障が原因で停止している。今後の活用について石川公園改修設計の際にあわせて検討したい。





一 道路及び公園行政について  
 二 公共施設等マネジメント計画（各庁舎の今後のあり方について）  
 三 石川多目的ドーム事業計画について  
 四 電力事業の売買電力自由化について  
 五 指名競争入札における指名制度について  
 六 うるま市補助金制度について

いは 伊波  
ひろし 洋

一 道路及び公園行政について

質問 市道石川白浜線改良計画の進捗状況を伺う。

答弁 島袋都市計画部長 石川公園も含めた県との調整を進め、都市計画決定の変更は平成29年度、平成30年度に実施設計に着手する見込みである。

質問 石川公園整備事業の今後の日程を伺う。

答弁 島袋都市計画部長 平成30年度に実施設計に着手したい。

質問 石川世榮津橋から旧石川富祖橋の約60mの道路拡張を県に要請できないか。

答弁 宮城建設部長 当該道路の幅や使用方法等を県中部土木事務所と協議したい。当面は道路路肩を除草し、安全確保に努めたい。

二 公共施設等マネジメント計画（各庁舎の今後のあり方について）

質問 各庁舎跡利用に関するアイデア募集について伺う。

答弁 天願総務部長 平成28年2月29日まで民間事業者等からアイデア募集を行っており、幅広い提案を求めるところで、本市の発展、市民・地域に有益な跡利用を目的としている。

質問 今後の日程、市民窓口サービスについて伺う。

答弁 天願総務部長 民間事業者等の提案内容を精査し、庁内検討委員会の検討を経て、庁議等で事業化の可否を今年度中に決定する予定。現各支所の窓口業務は、平成28年度も現状の形態で継続する予定。

三 石川多目的ドーム事業計画について

質問 これからの予定・課題等を伺

う。

答弁 上間経済部長 用地取得の進捗状況や諸条件の変化を勘案し、着手可能なところから整備を進めていく。実施年度は実施計画等で調整を図っていく必要がある。

質問 本市施設の年間電気使用量、今後の売買電気契約予定等、一般家庭への売電力の早急な事業実施要請ができないか。

答弁 天願総務部長 4庁舎合計約6121万円。今後、電気コスト削減にメリットが期待できれば検討したい。

質問 上間経済部長 新聞に沖繩参入を検討する新電力は複数あり、価格競争の波が沖繩にも波及すると掲載された。今後の動向に注視し、正確な情報を市民に周知していきたい。

質問 指名業者（市外）の実態調査の現状を伺う。

答弁 天願総務部長 2年に一度の業者登録時に資格審査しているが、調査は行っていない。疑義等があった場合に実態調査している。

六 うるま市補助金制度について

質問 これまでの審査報告を含め、補助金団体への今後の取り組みを伺う。

答弁 天願総務部長 各部署において、補助金交付団体に対し答申内容が反映されるよう、調整・努力されると考えている。

※他に「伊計島通信制高校進出計画について」質問しました。



一 災害対応について  
 二 観光行政について  
 三 行政について  
 四 道路行政について

みやぎ 宮城  
かずとし 一寿

一 災害対応について

質問 台風対策の物資関係の日常点検について伺う。

答弁 天願総務部長 備蓄食料、備蓄飲料水、毛布、タオル等を備蓄物資として整備し、防災行政無線は年2回点検し、バッテリー交換や修繕を行っている。

二 観光行政について

質問 クルーズ船寄港の取り組みを伺う。

答弁 上間経済部長 現在、県、総合事務局、沖繩市、北中城村と連携し業務を進めている。平成28年4月以降、中国籍の大型クルーズ船の寄港も予定されており、受け入れ体制の構築に向け、現在検討を進めている。

質問 クルーズ船寄港の経済効果等を伺う。

答弁 上間経済部長 寄港1回当たり約1億4000万円の直接的効果がある。

質問 マーラン船事業の与那原町、国頭村との今後の連携を伺う。

答弁 赤嶺教育部長 関係者から今後も連携して取り組みたいとの要望があった。今後、学校教育等で地域教材として活用に取り組み、関係自治体とも連携を図っていきたい。

三 行政について

質問 まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に関する住民意見交換での5島住民の意見、今後の対応を伺う。

答弁 喜納企画部長 主な意見として、農水産業を生かした地元産業の活

性化。島の観光資源の発掘。移住、定住者向けの住宅環境の整備などがあり、市の財政状況、実施体制等と照らし合わせ、できる限り事業施策を取り入れたい。

質問 勝連城跡周辺観光文化拠点整備事業について、琉球王朝にマッチしたデザインで城下町風な屋根瓦の民家・施設になるのか。

答弁 島袋都市計画部長 今後、専門家、有識者、関連団体等の意見を踏まえ、検討していく予定。

質問 天願川下流遊歩道の管理について伺う。

答弁 宮城建設部長 県中部土木事務所に定期的な草刈りを要請したい。

質問 与那城町漁業協同組合を活用した商品開発に伴う施設整備、備品購入補助ができないか。

答弁 上間経済部長 漁協から事業要請があれば、補助事業を活用し、事業採択が可能か関係機関と協議を進めていきたい。

四 道路行政について

質問 字具志川162番地の残りの側溝蓋設置は何時頃になるか。

答弁 宮城建設部長 次年度の維持管理費予算で優先順位等の整備状況を見ながら対応したい。

質問 桃原から宮城島漁港向けの草刈りを年3回、4回できないか。

答弁 上間経済部長 他地域とのバランスを図りながら草刈り作業しており、年3回の草刈りは厳しい。



- 一 畜産業等への支援、振興について
- 二 まち・ひと・しごと地方創生について
- 三 屋慶名土地区画整理事業について
- 四 庁舎建設の事故線越について

ながたまえ 永玉榮 やすし 靖

一 畜産業等への支援、振興について

質問 本市に家畜競り施設や食肉センター等の必要性を市民は希望している。市のブランド和牛肉の確立の為、畜産農家に一部助成し育成していく考え方を伺う。

答弁 上間経済部長 県畜産課に確認したところ、現状の家畜市場が特段過密状態にあるとは言えない。新たな競り市場の開設は現実的には厳しいとの回答であった。ブランド和牛肉の確立に向け、補助金等の助成について、検討したい。

質問 市長の取り組み、対応を伺う。

答弁 島袋市長 県等とも協議が必要になるが、現状は厳しいものがある。

二 まち・ひと・しごと地方創生について

質問 本市で人口減少が見られる地域を伺う。

答弁 喜納企画部長 減少率が10%以上の行政区は屋慶名、安慶名、内間と島嶼地域全てである。

質問 人口減少地域では、道路整備の不十分さや消防法で新築ができないなどで空き家が多くなり人口減少が見られると考える。人口増を図る為の市の施策を伺う。

答弁 喜納企画部長 市としては、東海岸開発構想、同基本計画に基づく敷地島の観光資源化や与那城庁舎跡利用計画、また現在整備中の与那城99号線

など、インフラ整備を着実に進め、地域活性化を図り、人口減少に歯どめをかけたいと考えている。

三 屋慶名土地区画整理事業について

質問 組合施行の土地区画整理事業の事業計画案を伺う。

答弁 島袋都市計画部長 今年度内で事業計画認可申請を行う予定と伺っている。

質問 来年度に予算措置ができるか。

答弁 喜納企画部長 補助金の交付は、次年度からの実施計画で現在検討している。

四 庁舎建設の事故線越について

質問 支出の関係について、条文の間違いであれば支出の法的根拠がないが、会計管理者はどの根拠で支出しているか。

答弁 船越会計管理者 平成27年4月30日付、平成26年度うるま市一般会計予算繰越明許費繰越計算書の通知についてが送付され受理し、通知に基づいて支出した。しかし、議員指摘のとおり、地方自治法第220条第3項の規定を第230条第3項、また市予算規則第18条の3項を第18条の2項と気づかず受理していた。これは関係法令及び規則による確認を怠ったものであり、今後このようなことがないよう、地方自治法第232条の4支出の方法及びうるま市予算規則に基づき適切な会計業務を遂行していきたい。



- 一 下水道事業について
- 二 沖縄ターミナル株式会社について
- 三 官製談合について

な か ま 名嘉眞 ぎ と く 宜徳

一 下水道事業について

質問 下水道接続促進事業の中身について伺う。

答弁 三浦水道部長 補助金の2分の1を国が負担する補助制度を受け実施するものである。

質問 接続率は高まったと思うが、効果も含めて伺う。

答弁 三浦水道部長 当事業は平成27年度当初予算で540万円、補正予算で400万円増額し、合計940万円で実施している。接続率は約0.4%の上昇を見込んでいる。

質問 この事業は次年度以降も継続する予定か。

答弁 三浦水道部長 次年度以降の補助金に対する市民の要望もあり、また国の補助制度も継続されることから、平成28年度も事業を継続する予定である。

質問 過去に接続した方々に対して、この事業が適用できるか。

答弁 三浦水道部長 平成27年7月1日以降に申請する接続工事が対象となっており、過去に実施した接続工事は対象としていない。

二 沖縄ターミナル株式会社について

質問 事故後の処理について、施設の改善等がなされたか。

答弁 照屋消防長 平成27年3月31日に改修工事の完成検査を終えた。

質問 公害防止協定の見直しについて伺う。

答弁 上門市民部長 現在、現協定書の条文確認するとともに、必要に応じ協定

書の見直し箇所は修正作業を行っている。

質問 いつまでに協定書を締結する予定か。

答弁 上門市民部長 平成29年度を目処に考えている。

三 官製談合について

質問 沖信建設は現在どのような状況か。また違約金2000万円余りの清算が済んでいるのか伺う。

答弁 赤嶺教育部長 平成27年8月31日付で営業停止による破産手続を進める旨の代理人弁護士からの告示書を9月2日に確認している。違約金に関しては、破産管財人と破産手続開始を進めることになる。

質問 「市長が3通りの決裁をして、封印をして職員に渡している」と答弁している。供述書では「市長が3つの予定価格調書を書き上げた段階で回収し、記載に誤りがないかなどを確認した上、市長の面前で封筒の中に入れ封印した」と供述している。これは副市長が答弁したものと全く違うが、どう考えるか。

答弁 島袋都市計画部長 決裁事務に関わる職員と決裁権者との関係は、信頼関係のもとで行われていることが前提で、調書の内容と答弁内容は、同様の趣旨であり何ら問題は無いと考えている。

※他に「宇堅ビーチの管理について」「東海岸開発基本計画について」質問しました。





一 今後の国保運営について  
二 南風原漁港整備について

にし の  
西野  
かず お  
一 男

一 今後の国保運営について

**質問** 沖縄県の国民健康保険事業が昭和48年に開始されて以来、赤字補填目的の法定外繰入に頼らざるを得ないという構造的な問題を抱えている。過去5年間の法定外繰入金と沖縄県国民健康保険広域化等連携会議について伺う。

**答弁** 上門市民部長 法定外繰入金は、平成22年度約10億円、平成26年度約13億円である。同会議は、平成27年度は開催されていないが、作業部会は二度開催された。

**質問** 本市の直近の加入世帯、被保険者数、1世帯当たりの被保険者数及び未就学児数を伺う。

**答弁** 上門市民部長 11月末現在、国民健康保険加入世帯数2万3220世帯、被保険者数4万5275人、1世帯当たりの被保険者数1.94人、未就学児数2947人である。

**質問** 本市の直近の自己負担、公費の低率負担分、普通調整交付金を伺う。

**答弁** 上門市民部長 自己負担分約25億8522万円。公費の低率負担分は、療養給付費等負担金約41億9972万円。普通調整交付金約25億5153万円である。

**質問** 本市の収納率向上対策を伺う。  
**答弁** 上門市民部長 うるま市国民健康保険収納対策緊急プランを毎年策定

し、それに基づき収納率の向上を図っている。また初期滞納者に早期接触を図り、納税指導員による納税指導を強化している。

**質問** 滞納者に対するの対策を伺う。  
**答弁** 上門市民部長 職員や納税指導員による納付指導を行い、現年度内での完納を目標に取り組み、過年度滞納分も早期解決に取り組んでいる。しかし納付相談に応じない、または納付計画を履行しない納税者は、滞納処分として預貯金給与、動産、不動産等の差し押さえ及び公売を行っている。

**質問** 今後の本市の国民健康保険財政の見通しと改善策を伺う。  
**答弁** 上門市民部長 国は国民健康保険法改正により、今年度から低所得者対策として、保険者支援制度を拡充するとされており、国民健康保険制度改革の状況を注視していきたい。

一 南風原漁港整備について  
**質問** 今後のスケジュールと小型製氷機の設定について伺う。  
**答弁** 上門市民部長 事業着手時期は平成33年度となる見込み。船揚げ場の拡張と泊地しゅんせつは県と協議を進めている。小型製氷機設置は特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用できないが防衛局と調整を進めている。



一 新庁舎の落成により、施設等の跡利用について  
二 「海から豚がやってきた」記念碑建立の進捗状況について  
三 更生保護女性会の活動と補助金について  
四 子育て支援について  
五 通学路の安全対策への取り組み状況について  
六 移動図書館について  
七 学校トイレの現状と洋式化について  
ひが  
比嘉  
あつこ  
敦子

一 新庁舎の落成により、施設等の跡利用について

**質問** 新庁舎移転後の旧3庁舎の跡利用について伺う。  
**答弁** 天願総務部長 平成28年2月9日まで石川、与那城庁舎の跡利用について民間事業者等からアイデア募集を行っている。勝連庁舎は老朽化により対象としていない。

**質問** 市民関連窓口、石川保健相談センター、勝連地区公民館、与那城地区公民館はどうなるか。  
**答弁** 天願総務部長 窓口業務は平成28年度も継続して行う。3施設は現状どおり維持される。

二 「海から豚がやってきた」記念碑建立の進捗状況について  
**質問** これまでの取り組みと進捗状況を伺う。  
**答弁** 喜納企画部長 第1回実行委員会ですら正式にうるま市に決定した。第2回実行委員会ですら平敷屋タキノ公園ワイトゥイ周辺、市民芸術劇場敷地内の3カ所を視察し、市民芸術劇場敷地内に決定した。第3回実行委員会では、建設工期を平成28年2月末とし、現在、基本デザインが決定され、記念品を制作中との報告を受けている。

三 更生保護女性会の活動と補助金について  
**質問** ①沖縄の地区会数②活動資金の支援について、どのように考えているか。  
**答弁** 上門市民部長 ①28団体の設置  
②現在、関係部署と協議を進めながら検討している。

四 子育て支援について

**質問** ①一時預かり事業の現状②子育て不安の解消について伺う。  
**答弁** 山城福祉部長 ①保育所等を利用していない家庭も一時預かり保育が利用でき、有料で保育園によって異なる。②読谷村での入水事件のようにひとり親家庭は社会から孤立しがちである。児童扶養手当認定通知書を送付する際に相談窓口の案内文を同封し、周知を図っている。

五 通学路の安全対策への取り組み状況について  
**質問** 通学路で白線が薄い又は引かれていない箇所はあるか。  
**答弁** 宮城建設部長 通学路安全推進協議会において、各小学校区より要請箇所を把握しており、交通安全対策特別交付金を活用し年次的に実施したい。

六 移動図書館について  
**質問** 移動図書館事業について、どのように検討されたか。  
**答弁** 赤嶺教育部長 自動車図書館の必要性は十分認識しているが、優先的に整備しなければならぬ多くの事業を抱え、次年度も実施できる状況に至っていない。

七 学校トイレの現状と洋式化について  
**質問** 学校トイレの現状と洋式化率を伺う。  
**答弁** 赤嶺教育部長 校舎改築時に洋式トイレや多目的トイレを設置しており、既存施設は学校との調整で年次的に改善している。現在、小学校63%、中学校62%、幼稚園76%の洋式化率である。



- 一 農業行政について
- 二 島嶼地域の学校行事の課題について
- 三 離島観光のあり方について

おもしろ  
大城直

一 農業行政について

質問 耕作放棄地の対策について伺う。

答弁 桑江農業委員会事務局長 毎年1回管内農地の利用状況調査を行い、耕作放棄地と判断された農地は、所有者への個別訪問や公文書で今後の意向等を聞き取り、農地の有効活用を促している。また農地所有者に対し、農地等賃借情報台帳に登録するよう理解を求め、新規就農や担い手へのあつせん等を行い、耕作放棄地解消に取り組んでいる。隣接地とのトラブルについては、所有者に対し指導を行っている。

質問 放棄地のレンタルに関する申し込みについて伺う。

答弁 桑江農業委員会事務局長 平成26年度の利用状況調査で売りたい、貸したい方は39件、借りたい方は70件である。

質問 新規就農・経営継承総合支援事業について伺う。

答弁 上間経済部長 本市が実施している経営開始型では、平成24年度から平成26年度末の延べ人数は33人である。

質問 島嶼地域の学校行事の課題について

質問 スクールバスで学校行事に地域のお年寄りを送迎できないか。

答弁 嘉手苅指導部長 スクールバスは学校の統廃合により、遠距離通学となった幼児・児童・生徒の安心・安全な通学手段を確保することを目的として

おり、代車がなく故障した場合、通学手段の確保に苦慮することから、地域の方の送迎は厳しいと考えている。

質問 学校統廃合後、地域懇談会の予定があるか。

答弁 嘉手苅指導部長 学校が年に2回実施している保護者、地域との懇談会の場を利用し、学校と協議して実施していきたい。

質問 市長部局でも予定があるか伺う。

答弁 喜納企画部長 市長とも調整し検討していきたい。

三 離島観光のあり方について

質問 石川ビーチをスタートし津堅島をゴールとしたサバニ帆漕レースができないか。本市の海岸線のピアーールにも繋がると思うが、観光開発の見直し・再検討が可能か伺う。

答弁 上間経済部長 次年度以降これらの課題や提言も踏まえ、10年間の地域観光振興ビジョンの策定の中で検討していきたい。

質問 島嶼地域の方々をシーズンオフにも栄えた観光地の視察は、何かのヒントになると思うが、久高島の視察が可能か伺う。

答弁 上間経済部長 久高島の状況を視察することは有意義な取り組みであり、住民の観光地視察が必要か検討していきたい。



- 一 合併10周年についてのアンケート調査について
- 二 小中学校の運動会時の防塵対策について
- 三 野焼きについて
- 四 学校給食について
- 五 ごみ問題について

おきどう  
荻堂盛仁

一 合併10周年についてのアンケート調査について

質問 次期基本構想や前期基本計画を策定する際のアンケート調査の準備は進んでいるか。

答弁 喜納企画部長 平成28年1月上旬に実施すべく準備を進めている。

質問 実施方法、アンケートの内容を伺う。

答弁 喜納企画部長 実施方法は、18歳以上の市民から4000人を無作為に抽出し郵送する。調査内容は、本市のまちづくりに関する現状評価、満足度、今後のまちづくりに関する意見や要望等となっている。

質問 調査結果は市民に公表するか。

答弁 喜納企画部長 集計・分析作業後、市民に公表したい。

一 小中学校の運動会時の防塵対策について

質問 昼食時間のスプリンクラーと散水車での対応に対し当局の考えを伺う。

答弁 赤嶺教育部長 学校長管理のもとでPTAの協力を得ながら適宜散水し対策していると認識している。

質問 運動会時に防塵剤を配付できないか。

答弁 赤嶺教育部長 防塵剤は散布後すぐに効果が出るものではなく、事前の対策が必要である。

三 野焼きについて

質問 野焼きが禁止となっている法律の説明を。

答弁 上門市民部長 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第16条の2により廃棄物の焼却禁止が規定されている。

質問 この法律の根拠を伺う。

答弁 上門市民部長 廃棄物処理施設の過度の集中により生活環境保全上、大気汚染に係る環境基準を定め、規制された。

質問 焼畑は認められないのか。

答弁 上門市民部長 廃掃法第16条第3項で焼却禁止の例外として認められているが、住宅地域等への煤煙やにおい等の影響がある場合、周辺の生活環境の保全に配慮するよう自粛を求めている。

四 学校給食について

質問 給食費無料化を前向きに検討できないか。

答弁 嘉手苅指導部長 学校給食法の規定のとおり、保護者負担が適正との考えから、給食費無料化は検討していない。

質問 食物アレルギーの対応・対策を伺う。

答弁 嘉手苅指導部長 文部科学省が作成している学校給食における食物アレルギー対応指針等を活用して取り組んでいる。

五 ごみ問題について

質問 ごみ袋料金の他市との比較を伺う。

答弁 上門市民部長 本市と同じ料金はその那覇市、宜野湾市、宮古島市、安良市、糸満市、南城市、糸満市、石垣市、その他として浦添市、豊見城市、高料金は名護市である。

質問 ごみ袋無料化の考えはないか。

答弁 上門市民部長 ごみ排出抑制に効果があり、ごみ処理費用にかかる財政の健全化、消費者負担の観点から無料化は適性ではないと考えている。





ひがしはらみつお  
東浜光雄

- 一 自主防災組織に対する教育・訓練のあり方について
- 二 勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業について
- 三 東照間地内(畑)排水路の整備について

**一 自主防災組織に対する教育・訓練のあり方について**

**質問** 防災教育・訓練は組織化と並行に行い、地域住民が自主的に防災活動ができる体制を確立させることが重要と考えるが。

**答弁** 天願総務部長 自主防災組織の結成と訓練と研修により育成に取り組んでいく。

**質問** 防災活動をより効果的に行うためには、地域防災マップを自主防災組織みずから作成し、十分な把握をしていくことや、避難行動要支援者の避難誘導に関して必要に応じて支援カルテの作成を行っていくことだと考えるが。

**答弁** 天願総務部長 自主防災組織が主体となり防災調査を実施し、それを地域防災マップとして共有することは大変有効なことと考える。避難行動要支援者の支援を実効性のあるものとするため、非常に重要な課題であるので、モデル地域を設定し、早急に進めていきたい。

**二 勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業について**

**質問** 公園整備は勝連城跡の北側の整備となっているが、南側の整備はどのようなものか。また勝連城と言えば肝高の阿麻和利であり、本市の中高生が演じる現代版組踊「肝高

の阿麻和利」は常設劇場を設け、随時公演し、来館者に体験・体感してもらい、発信していくことが重要だと考える。勝連城の物語と言えば、真っ先にイメージするのが阿麻和利と百十踏揚の物語だと思う。その物語の舞台として来場者により効果的に体感してもらうためには公園内に阿麻和利と百十踏揚の銅像を建立していくことだと考えるが見解を伺う。

**答弁** 島袋都市計画部長 勝連城跡南側の整備については、観光誘導ゾーンとして民間主体による飲食店や宿泊機能の誘導、海辺の散策で南風原漁港の活用を図る区域として設定している。常設演劇場は大変重要だと認識しており、出演団体、専門家、有識者、関連団体等から意見を伺い検討していく。銅像の建立は、今後発足する検討委員会に報告する。

**三 東照間地内(畑)排水路の整備について**

**質問** 照間自治会からの要請への対応を伺う。

**答弁** 宮城建設部長 畑の境界に素掘り排水の作業を行うことで地権者の同意を得ており、キビ搬出終了後の年度末に素掘りの排水路作業を進める。

※その他「認知症対策について」質問しました。



いもりさちこ  
伊盛サチ子

- 一 市民行政について
- 二 官製談合について
- 三 騒音対策について

**一 市民行政について**

**質問** 統合庁舎への移転に伴う石川・与那城・勝連地区の支所窓口設置について伺う。

**答弁** 天願総務部長 跡利用の一般公募と行政利用の観点から跡利用に向けた活用案を検討している。平成28年度は現状の形態で窓口を継続し、平成29年度以降も課題を検討しながら市民サービスの低下にならないよう取り組んでいく。

**二 官製談合について**

**質問** 平成27年2月議会での私の質問に対し、「決裁権者しか知り得ないもの」との答弁があった。元職員の検査庁への供述について伺う。

**答弁** 島袋市長 これまでも申し上げたが、決裁権者は額によって課長、部長、副市長、最高責任者の市長と分かれている。公共工事が高額になるほど慎重を期して、最低制限価格を選定する必要がある。決裁権者の私のほうで職員立ち会いのもと、10通りの案から3つを選び、二字一句間違いがないか補助職員と確認し、押印・封印して職員に引き渡す手法をとっている。その手順を具体的に述べられたのが供述書の内容である。

**三 騒音対策について**

**質問** 本市上空を飛行する米軍航空機の騒音が増加しているとの苦情が寄せ

られている。騒音測定件数を伺う。

**答弁** 喜納企画部長 発生回数は、平成27年度は12月9日現在、本庁舎1757回。市民芸術劇場812回。与勝中学校1827回である。

**質問** 2012年10月に普天間基地にオスプレイが配備された。本市上空の騒音が増加した時期と要因を伺う。

**答弁** 喜納企画部長 平成17年度から平成24年度までは年間平均約10件で、平成25年度63件、平成26年度111件、平成27年度12月現在83件である。オスプレイ配備や北部訓練場の訓練増加等との関係性は断言できないが、同機配備以降、住民の航空機騒音に対する不安は高まっていると認識している。

**質問** 市としてどう対策を取るのか。オスプレイ配備撤回も含めて要請していくべきではないか。

**答弁** 喜納企画部長 沖縄県軍用地転用促進・基地問題協議会を初め、都市関係機関との連携を図りながら騒音被害の実態を踏まえた防音補助区域の拡大対象建築基準年の見直し等、国に対して継続的に要請している。議員提言も今後十分に検討を重ねていきたい。

※他に「福祉行政について」「建築行政について」質問しました。





一 認知症対策について  
二 「子ども部」の設置について

伊波 良明

一 認知症対策について

質問 認知症高齢者等SOSネットワーク事業の内容を伺う。

答弁 山城福祉部長 徘徊傾向にある高齢者を事前に包括支援センターや協力をできる事業者・企業等に登録し、地域のネットワークのもと、発見・保護を早め、本人や家族が安心できる支援体制の構築を行う事業である。

質問 認知症キャラバン・メイトや認知症アドバイザーの育成について伺う。

答弁 山城福祉部長 認知症キャラバン・メイトは、県主催の養成研修を終了した方々で、6月30日時点で本市登録数は55人である。アドバイザー育成の予定はないが、先進地の取り組みを参考に検討したい。

質問 認知症予防対策について伺う。

答弁 山城福祉部長 介護予防教室で予防食材の情報提供、認知症予防教室でウォーキングセミナー、介護教室では講話と予防の軽体操を行っている。

質問 小・中学校での認知症講座について伺う。

答弁 山城福祉部長 今年度、2地区の子ども会にサポーター養成講座を実施。中学校や高校生は職場体験の際、キャラバン・メイトがいる認知症型

グループホーム等で講話を行っている。学校教育において認知症を含む高齢者への理解を深める教育の推進項目でもあることから、教育委員会との連携は必要と考えている。

質問 教育委員会の見解を伺う。

答弁 嘉手刈指導部長 認知症の正しい知識を持ち、認知症を理解し、高齢者への労りや思いやりの心を育てる機会として意義があると考えている。今後、関係行政機関と連携し、人権教育等の中で取り組んでいけるよう校長会等で周知していきたい。

二 「子ども部」の設置について

質問 こども部設置の背景を伺う。

答弁 天願総務部長 待機児童の問題や子育て支援の課題の解決のため子どもに特化した部の必要性が議論され検討を重ねた結果、事務事業の連携等による合理化や一体的な施策の展開が図られることから設置するものである。

質問 主な取り組み及び効果を伺う。

答弁 天願総務部長 これまでの各課の継続事業を中心に、新たな事業の課題等を整理しながら取り組み、これまで以上に関係部署の連携が図られ、将来を担う子どもたちが健やかに育ち、保護者が子育てしやすい環境整備ができると考えている。



一 「道路行政」と「街路灯設置」について  
二 「うるま市プレミアム商品券発行事業」の運営状況について  
三 「うるま市鳥「チャーン」の現状と課題、行政の取り組みについて  
四 「うるま市教育委員会事務点検・評価の報告」と教育現場、教育環境の現状・課題・取り組みについて

佐久田 悟

一 「道路行政」と「街路灯設置」について

質問 与勝中学校前から屋敷名方面の中間地点に街路灯設置ができないか。

答弁 宮城建設部長 危険箇所や見通しの悪い部分に設置できないか県中部土木事務所に粘り強く要請していきたい。

質問 与那城西原地域の区画整理地域の未整備道路の対応を伺う。

答弁 宮城建設部長 区画内道路の交通量の状況を見ながら維持管理補修等を行っていきたい。

二 「うるま市プレミアム商品券発行事業」の運営状況について

質問 プレミアム商品券発行に当たり、障がい者の方々への販売方法や対応を伺う。

答弁 上間経済部長 販売会場や周辺の状況など至らない点もあり十分な対応とは言えず、今後の課題として捉え、次に活かしたい。

質問 障がい者の方々への意見等も踏まえ、販売・配布方法に細かな配慮がなされるべきと考えるが。

答弁 上間経済部長 現場の意見・提言を真摯に受け止め、社会福祉協議会との連携や意見を伺いながら検討していきたい。

三 「うるま市鳥「チャーン」の現状と課題、行政の取り組みについて

質問 チャーン保存会員数と登録羽数を伺う。

答弁 赤嶺教育部長 保存委員会会員23人、指定鶏約40羽、市文化協会チャーン部会13人で50羽ほど飼育され、20羽が

指定鶏である。

質問 チャーン鶏鳴大会を盛り上げるため、行政としてもっと支援できないか。

答弁 上間経済部長 大会運営の工夫や副賞など、チャーン愛好会の意見を伺いながらさらに支援していきたい。

質問 チャーン保存の取り組みについて、教育委員会の考えを伺う。

答弁 赤嶺教育部長 議員提言も含め羽数の増加、後継者育成など、県及びチャーン保存委員会、関係部局と連携を図っていきたい。

四 「うるま市教育委員会事務点検・評価の報告」と教育現場、教育環境の現状・課題・取り組みについて

質問 事務点検・評価報告書の外部評価委員の提言等は反映されているのか。

答弁 赤嶺教育部長 客観的観点から評価・意見していただき、今後の課題等の改善・向上に繋がると考えている。

質問 学校評価システム導入による各学校の状況等を伺う。

答弁 嘉手刈指導部長 自治会や地元有識者等を学校関係者評価委員として委嘱し、地域の声を取り入れ、学校評価の結果を分析し、学校経営計画策定の基礎資料としている。

質問 新しい教職員評価システムが教職員の資質能力向上や学校組織活性化に反映されなければならないと思うが。

答弁 嘉手刈指導部長 評価者と被評価者の合意形成を図り、教職員のやる気や安心して業務に専念できるように評価者の研修会を充実させていきたい。



一 農業振興について  
二 マイナンバー通知について

とくだ まさひこ  
徳田 政信

一 農業振興について

**質問** 豊かなむらづくり全国表彰、勝連南風原地区が農林水産大臣賞を受賞した経緯について伺う。

**答弁** 上間経済部長 オクラの拠点産地の認定を受け、南風原地区はオクラを介して地域の活性化、住民の絆が結ばれており、これらの姿勢が受賞の要因である。

**質問** さらにこの地域を支援する考えはあるのか。

**答弁** 上間経済部長 農水産業拠点施設を活用した農水産物の販売拡大を図りたい。また、歴史と歩む豊かなむらづくりとしても事業展開を推進したい。

**質問** 重要害虫ミカンコミバエ種群侵入防止策について、沖縄県でコミバエの根絶に至った経緯を伺う。

**答弁** 上間経済部長 昭和52年から昭和61年にかけて、雄除去法により根絶し、熱帯果樹や果菜類等の本土出荷が可能になった。

**質問** 奄美大島や鹿児島県でのミカンコミバエの発生状況を伺う。

**答弁** 上間経済部長 1084匹の誘殺数で、事業費として7億5100万円予算で対応している。

**質問** 沖縄県内の現在の状況を伺う。

**答弁** 上間経済部長 県内は11匹の誘殺を確認している。

**質問** 本市の状況を伺う。

**答弁** 上間経済部長 本市においても1匹の誘殺を確認している。

**質問** 今後、市としてどのように取り

組むか。

**答弁** 上間経済部長 農業関係機関と連携しながらチラシ等を配布し、注意喚起を図りたい。

**質問** 奄美大島ではミカンやその他作物が全面的に出荷を停止し、全部廃棄処分される状況にある。誘殺トラップや誘殺テックス板を配布・設置できないか。

**答弁** 上間経済部長 ミカンコミバエ根絶後も県は平成27年度も1億8千万円の予算を計上し進入防止事業を実施している。今後の状況を見て検討したい。

一 マイナンバー通知について

**質問** 県内で10万通が本人に届かずに報道があるが、本市の現状を伺う。

**答弁** 上門市民部長 本市配達総数は4万9170通となっており、12月10日現在で役所への返戻分が9440通となっている。

**質問** 不在者への今後の市の対応を伺う。

**答弁** 上門市民部長 1月から夜間や土日の受け取り窓口の開設を予定。また、2月後半には残った世帯分に対し、はがき等で受け取り案内を送付する予定。

**質問** 自分の番号がわからない場合に市民が受ける影響について伺う。

**答弁** 上門市民部長 各種申請や職場・アルバイト先などでマイナンバーによる手続き時に書類の不備として取り扱われる可能性がある。

一 新市建設計画について

**質問** 道の駅整備事業を実施計画に追加できないか。

**答弁** 喜納企画部長 平成29年度の実施計画事業として検討する方向で調整していきたい。

**質問** 伊波城跡歴史公園整備事業、楚南地区開発プロジェクト事業、道の駅整備事業、移動図書館整備事業を事業化せず、特例債を別事業に活用することは手続き上、疑問を持っていないか。

**答弁** 喜納企画部長 5事業に関して引き続き協議していきたい。

一 都市計画について

**質問** うるま市景観条例の条項は詳細すぎて理解しづらい。整理する必要があると思うが。

**答弁** 島袋都市計画部長 議員指摘の部分や運用状況の実績を勘案し、整理について検討していきたい。

**質問** 条例の高さ制限の見直しは、商業地域の道路幅員を基準にした高さの緩和とリゾート地域の高さ40mに制限する制度改正も検討してもらいたい。

**答弁** 島袋都市計画部長 市内各地の状況の変化や景観計画の趣旨と整合性を勘案し、将来的には変更も視野に入れ検討したい。

**三 教育行政について**  
**質問** 学校創立記念事業の交付基準を伺う。

**答弁** 赤嶺教育部長 市立小中学校で創立100周年は50万円、それ以外は10年単位で20万円を交付している。

**質問** 補助金交付要綱を改正して高



一 新市建設計画について  
二 都市計画について  
三 教育行政について  
四 道路行政について

こうち まさかず  
幸地 政和

等学校にも交付できないか。

**答弁** 赤嶺教育部長 高等学校への交付は厳しい状況にある。

**質問** 宮森・城前小学校校舎建設計画の住民アンケート調査の結果を伺う。

**答弁** 赤嶺教育部長 宮森小学校は補強11%、改修14%、建て替え46%、高台移転40%。城前小学校は補強10%、改修12%、建て替え55%、高台移転31%である。

**質問** 両小学校の校舎建設計画の方向性を伺う。

**答弁** 赤嶺教育部長 建て替えを望む意見が多く、児童、教職員、地域住民も対象にした津波避難ビルの機能を備えた施設が求められていると考えている。

**質問** 宮森・城前幼稚園園舎の津波防災対策上、園舎建設計画はどのような考えでいるか。

**答弁** 赤嶺教育部長 両小学校の基本計画、基本設計の際に津波防災対策の観点から両園舎を含めた配置計画も検討したい。

四 道路行政について

**質問** 石川白浜線整備事業の概要と課題、橋梁部の仮設設置について伺う。

**答弁** 島袋都市計画部長 延長720m、概算事業費5億2200万円を想定。橋梁の幅員が狭小で改善の手法について検討していく。

**質問** 竣工時期は何年を予定しているか。

**答弁** 島袋都市計画部長 平成34年頃を想定している。





一 畜産振興について  
二 公園整備について

平良 榮順  
たいら えいじゅん

一 畜産振興について

**質問** 本県におけるヤギの飼養頭数は平成26年は8855頭で、全国の約36%を占めている。今後、飼養頭数の増加が考えられるが、県内ヤギ肉の約6割が輸入に頼っている。本市の飼養頭数、戸数を伺う。

**答弁** 上間経済部長 頭数601頭、生産農家117戸。

**質問** 全国的には、独立行政法人畜産改良センターや民間団体の全国山羊ネットワークがヤギの畜種改良、配布飼養技術研究、飼料作物種子の生産等を行っている。県のおきなわヤギ飼養・流通消費促進事業について伺う。

**答弁** 上間経済部長 繁殖性及び産肉性の高いヤギの作出、普及の為の研究、肉質調査の実施、飼養頭数の増進と生産消費拡大を推進する事業である。

**質問** ヤギ生産振興について当局の所見を伺う。

**答弁** 上間経済部長 市畜産共進会で品評会を開催し、生産農家の活性化、土気の高揚を図っている。県はJAおきなわ山羊生産振興協議会が事業主体となつて優良種ヤギ購入費に補助する制度がある。これを踏まえて市も振興策を検討していきたい。

**質問** 本市の生産振興策の取り組み等について伺う。

**答弁** 上間経済部長 生産基盤の強

化、販路拡大等、山羊生産組合や関係機関との意見交換及び他市町村の取り組み事例など、情報を収集しながら検討していきたい。

一 公園整備について

**質問** 新庁舎東側公園の当初設置目的と従前の面積と形状について伺う。

**答弁** 天願総務部長 住民の屋外における休息、観賞、遊技、運動その他レクリエーション利用、都市環境の整備及び改善、災害時の避難等に資することを目的とし、面積は7372㎡、従前の形状は野外ステージから旧教育研究所敷地までの長方形であった。

**質問** 新庁舎敷地の一部として組み込まれた公園用地は、旧教育研究所跡地に換地していただきたいが、当局の考えを伺う。

**答弁** 天願総務部長 統合庁舎北側へ芝広場として換地及び整備したい。

**質問** みどり町3自治会長から市長宛、市役所新庁舎東側公園(市民広場)の適正整備について要請されているが、所見を伺う。

**答弁** 天願総務部長 隣接公園と一体的で繋がりのある広場として整備することにより地域のまつり等への対応が可能になると考えている。

※他に「河川整備(つづみ)」質問しました。



一 赤道小学校全面改築事業について  
二 赤道区内道路・排水路等の補修について  
三 米原区内排水路整備について  
四 兼筒段土地改良区への太陽光発電施設導入支援について  
五 赤道区内道路・排水路等の補修について  
六 性的マイノリティーの理解について  
仲程 孝  
なかほど たかし

一 赤道小学校全面改築事業について

**質問** 校舎と隣接する旧赤道保育所跡地との一体的な活用について検討内容を伺う。

**答弁** 赤嶺教育部長 保育所跡地を含めた一体的な全体配置計画を担当部署と手続を進めながら活用を図っていききたい。

**質問** 赤道区内道路排水路等の補修について伺う。

**答弁** 宮城建設部長 次年度において地権者の同意をいただきながら、維持管理予算の優先順位等において、側溝蓋の設置を行いたい。

**質問** 江洲492-7番地周辺と市道江洲41-45号線への側溝蓋掛けについて対応を伺う。

**答弁** 宮城建設部長 排水機能として問題ないと認識しており、今後も地域住民の協力を得ながら側溝清掃など、維持管理業務に努めていきたい。

**質問** 当該市道の道路拡幅も含めた道路改良の可能性について伺う。

**答弁** 宮城建設部長 交通量、費用対効果等から補助事業での採択は厳しい。

三 米原区内排水路整備について

**質問** 進捗状況を伺う。

**答弁** 宮城建設部長 現在、延長約400mについて、排水路断面の検討の為、流域調査や地形状況の確認、現況排水路の高さなどの調査を行っている。

四 兼筒段土地改良区への太陽光発電施設導入支援について

**質問** 施設導入に向けた補助事業での支援が厳しいのであれば、その他の支援や目に見える形での助成等が行えないか。

**答弁** 上間経済部長 国・県の補助事業が厳しいことから市単独での施設整備補助や他土地改良区に交付している運営補助金制度を補助金交付規則及びうるま市土地改良区補助金交付要綱に照らし合わせ、支援対応する事が可能か検討していきたい。

**質問** 一連の未供用区間について伺う。

**答弁** 宮城建設部長 県中部土木事務所によると供用開始に向け事務手続きを行っており、平成28年1月までは開通出来るものと聞いている。

六 性的マイノリティーの理解について

**質問** 性的マイノリティー支援の考え方、本市の役割について伺う。

**答弁** 喜納企画部長 講座や研修の開催など、市民への啓発活動を行う事が現在、本市が担う基本的な役割と考えている。

**質問** 那覇市と同様な支援宣言や性的マイノリティーに理解を示す条例の制定など、更なる支援に向けた積極的な取り組みについて見解を伺う。

**答弁** 喜納企画部長 現状において性的マイノリティーに関する市民への周知も十分でないと考え、今後、啓発事業を継続して行い、市民の全体的な理解を見ながら検討していきたい。



またよし のりひさ  
又吉 法尚

- 一 少子化対策について
- 二 あげな中学校近く安慶名闘牛場入口交差点の整備について
- 三 うるま市総合体育館、及び小中学校備品整備について
- 四 うるま市内、小・中学校部活動について

一 少子化対策について

**質問** 若年層を対象に本市主催で婚活支援お見合いパーティー等の出会いの場が提供できないか。

**答弁** 喜納企画部長 婚活支援事業として独身男女を対象とした婚活イベントやセミナーを行う団体への事業費を助成する事業を施策として取り入れたい。

**質問** 若者に対する結婚、妊娠、出産、子育てに関する少子化シンポジウムの開催について、見解を伺う。

**答弁** 上門市民部長 市総合戦略の策定作業の中で、関係部署と協議・検討していきたい。

**質問** 本市も独自の不妊治療の助成制度ができないか。

**答弁** 上門市民部長 妊娠、出産、子育ての切れ目ない支援の観点から、関係部署と協議・検討していきたい。

二 あげな中学校近く安慶名闘牛場入口交差点の整備について

**質問** 外国人車両と中学生による接触事故があった横断歩道は白線が消えかけている。全体的な塗り直しができないか。

**答弁** 上門市民部長 うるま警察署に確認したところ、2月中に実施予定との回答である。

**質問** 具志川商業高等学校から安慶名闘牛場入口の間の道路に英語標識を設置できないか。

**答弁** 上門市民部長 注意喚起の看板設置に向けて対応していく。

三 うるま市総合体育館、及び小中学校備品整備について

**質問** 総合体育館の建て替え時期及び場所の考えを伺う。

**答弁** 赤嶺教育部長 今後、耐震診断の結果や総合的な検討が必要と考える。

**質問** 小中学校のバレーボールのネット支柱のファイバー化について、バレーボール大会開催の多い総合体育館を早急に対応できないか。

**答弁** 赤嶺教育部長 備品の更新の際に軽量タイプの検討を行いたい。

四 うるま市内、小・中学校部活動について

**質問** 去る9月に県からの提言で、各部活動ともに終了時間を定め、厳守すること。小学校は週に3日以上、中学校は平日に1日以上以上の休養日を設け、確実に休養させることを徹底するように定めている。本市の現状を伺う。

**答弁** 嘉手刈指導部長 終了時刻は小中学校ともに概ね午後6時30分。毎月第3日曜日の休養日が小学校37.5%、中学校70%。休養日が小学校で週3日以上は37.5%、中学校で週1日以上は80%。中学校は校長の指導が行き届く状況だが、小学校は学校管理外のため適切な部活動運営の周知が難しく、適切な休養等が進んでいない。

**質問** 校長会等で市共通の認識として周知徹底できないか。

**答弁** 嘉手刈指導部長 校長会等で再度周知していく。

※他に「第10回うるま祭りについて」質問しました。



なかむら まさと  
中村 正人

- 一 勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業
- 二 組織機構について
- 三 県道37号線保安林用地について
- 四 予算について

一 勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業について

**質問** 今回の事業は経済部や教育委員会との所管にも関わっている事業だが、プロジェクトチームを立ち上げる必要があると思うが。

**答弁** 島袋都市計画部長 平成28年度から専任室を配置し、職員4人の配置を予定している。事業実施は、当面の間は用地買収、物件補償、実施設計、工事等が大きな割合を占めているので、都市計画部の事務担当としている。

二 組織機構について

**質問** 新庁舎のスタートに伴い、総合窓口及びワンストップサービス化が図れると思うが、内容を伺う。

**答弁** 天願総務部長 平成24年9月にお客様サービス向上提案書を作成し、関係各課との調整を進めてきたが、各課の電算システム統一とマイナンバー法施行に伴うシステム改修が同時期に重なり、マイナンバー法に関わるシステム改修を優先せざるを得なくなり、新庁舎の稼働に合わせたワンストップサービスの提供は見合わせている。

**質問** 市民協働課は新しい名称の課であるが、内容を伺う。

**答弁** 天願総務部長 現在の市民生活部門に男女共同参画、平和交流、NPO等の業務を統合する内容となっており、統合の狙いとして、各種団体や地域、個々の人の関係が深まり、広く

市民が関われる行政窓口とすることで、それぞれが立場を理解し、尊重し合う関係を構築できるよう取り組んでいく。

**質問** 市民と連携・協力していくのであれば、行政が責任を持って事務事業を行うためにも、条例化を図るべきと思うが。

**答弁** 天願総務部長 行政と市民がパートナーシップを務めることは重要であり、条例の策定は必要と考えている。

三 県道37号線保安林用地について

**質問** 与那城照間地域の保安林用地の現状を伺う。

**答弁** 上間経済部長 その地域は潮害防備保安林に位置付けられており、具志川照間から与那城屋慶名区間の面積は2.45haである。

四 予算について

**質問** 一括交付金について、平成27年度の事業内容を伺う。

**答弁** 喜納企画部長 学力向上や文化振興・観光振興・雇用創出・経済振興など39事業に一括交付金を活用し取り組んでいる。

**質問** 経済部及び教育予算に影響が出ない方向性で検討しているか。

**答弁** 喜納企画部長 本市の課題である経済の活性化と失業率の改善、教育、子育て支援の拡大などの解決に繋げていきたいと考えている。





- 一 LED防犯灯設置工事について
  - 二 事務委託者連絡協議会(自治会長会)について
  - 三 江洲ブスク・公園整備工事について
  - 四 石川、勝連、与那城庁舎の今後の利用計画について
  - 五 中城湾港新港地区への共同保育所について
  - 六 中部保護区更生保護サポートセンター開設について
- 喜屋武 力 (きやぶたつとむ)



- 一 自衛隊への市民名簿提供について
  - 二 非正規公務員産休・育休制度について
- 金城 加奈栄 (きんじょうかなえ)

一 LED防犯灯設置工事について

**質問** 公共工事に入札参加登録していない、または電業会に加入していない市内の個人業者も入札参加できないか。

**答弁** 上門市民部長 市内の個人業者の入札参加は可能と考える。今後は自治会長連絡協議会と協議し遂行していく。

二 事務委託者連絡協議会(自治会長会)について

**質問** 事務委託者会議で事務委託者からの質疑・質問への回答が不十分である。自治会に内容と議事録を送り、理解を得ることで、連携調和がとれ、市民協働のまちづくりになると思うが。

**答弁** 上門市民部長 今後、依頼内容等に十分な説明を心がけ、受けた質問への回答を全事務委託者にFAXやメール等で行うよう、再度各課に周知徹底していく。

三 江洲ブスク・公園整備工事について

**質問** ヌーリ川公園整備事業の遅れで江州城址公園整備事業が平成33年まで長引くことは、地権者は納得いかないと思う。今後どのような対策や計画を考えているか。

**答弁** 島袋都市計画部長 今後は着手前に用地取得のリスクである相続状況を調査し、工程計画の作成など、円滑

な事業推進に努めていきたい。

四 石川、勝連、与那城庁舎の今後の利用計画について

**質問** 旧庁舎を公設民営の老人ホームとして利用できないか。

**答弁** 山城福祉部長 現状において大変厳しいと考えている。理由として、第6期介護保険事業計画に施設整備の予定がない、旧庁舎の構造が国の基準に合致するか、介護保険料への影響等。また、本市は5カ所の介護老人福祉施設があることなどである。

五 中城湾港新港地区への共同保育所について

**質問** 共同保育所設置により、余裕をもって子どもを送迎し、買い物・帰宅することで、本市の経済効果・地域発展に繋がると考えるが。

**答弁** 上門経済部長 共同事業種型保育施設も子育て支援の一つの施策として、働きやすい環境づくりを通して安定した雇用環境を確保することで、本市の経済発展にも大きく寄与すると考えている。

六 中部保護区更生保護サポートセンター開設について

**質問** 学校で手におえない子どもたちを早期に更生させるため、学校と保護司会の連携が必要だと思ふが。

**答弁** 嘉手苅指導部長 児童生徒の健全育成に力強い支援機関である。同サポートセンターと連携を密にし、児童生徒の支援活動を充実させていきたい。

一 自衛隊への市民名簿提供について

**質問** 2市が住民の同意を得ず名簿を提出したことが明らかとなった。本市でも自衛隊からの要望があったか伺う。

**答弁** 上門市民部長 自衛隊沖縄地方協力本部長発出で、自衛官及び自衛官候補生の募集に関し、必要となる募集対象者情報の提出の依頼文書を市民課で受けている。

二 非正規公務員産休・育休制度について

**質問** 依頼内容と市の対応を伺う。

**答弁** 上門市民部長 募集対象者の氏名、出生年月日、男女の別及び住所の情報に関する資料提出であり、出生年月日は平成1年4月2日から平成10年4月1日までの者。日本人住民に限るもので、紙媒体での提出とのことであった。依頼に対して、市民課内部で検討し、今年度も従来どおり市民課での閲覧で対応してもらいたい旨を返答し、紙媒体での提供を断った。

三 個人情報保護法第2条第3項で例外規定として国の機関、地方公共団体、独立行政法人などが挙げられており、今回の閲覧は

**質問** 防衛省は提供を求めている情報は、住民基本台帳法の違反にあたりないとしている。個人情報保護法第16条の規定を当局はどのように理解しているか。

**答弁** 上門市民部長 個人情報保護法第2条第3項で例外規定として国の機関、地方公共団体、独立行政法人などが挙げられており、今回の閲覧は

本人同意を得る必要がないと判断し、閲覧を許可している。

一 非正規公務員産休・育休制度について

**質問** 本市は特別職、非常勤は産後休暇が整備されており、臨時職員は未整備である。総務省は全国の自治体に産休・育休制度を適切に整備するよう通知している。現在の臨時・嘱託職員数と産休・育休取得者数及び過去の産休・育休取得者数を伺う。

**答弁** 天願総務部長 臨時職員は女性305人、男性79人。嘱託職員は女性389人、男性172人。全体で945人である。今年度は産休・育休の申し出者はいない。過去に2人の嘱託職員が産休を取得したとの情報を得ている。

二 産前・産後休暇、育児休暇は労働基準法並びに育児・介護等休業法において使用者に課せられている。働く女性・男性のための出産、育児に関する制度の整備について見解を伺う。

**答弁** 天願総務部長 産前・産後休暇とあわせ、育児時間休暇の規則改正に着手している。今後、県や他自治体の整備状況も参考にし、検討したいと考えている。

※他に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について質問しました。



しもじゆう まさはる  
下門 勝

- 一 道路網整備計画及び鉄軌道整備誘致と観光振興について
- 二 環境行政について
- 三 福祉行政について

**一 道路網整備計画及び鉄軌道整備誘致と観光振興について**

**質問** 本市への鉄軌道ルート、駅などを誘致する協議会等を設置して積極的に取り組む必要があるが、対応方針を伺う。

**答弁** 喜納企画部長 情報収集に努め、時期を失しないよう取り組みたい。

**質問** 恩納村の観光ホテル群から本市への観光流入アクセス道路が脆弱で改善の余地があれば、観光振興ビジョン策定の過程で、銀座通りの延伸を検討できないか。

**答弁** 喜納企画部長 引き続き必要な道路網の整備については、関係市町村と連携を図り要請していきたい。

**二 環境行政について**

**質問** グリストラップ(油対策)について、浄化槽の維持管理をしなければ、油脂を含んだ汚水が側溝へ流れ出し、水質汚濁防止の観点からも対策が必要と考える。また浄化槽から汲み取った油脂の混ざった汚物・し尿等が中部衛生施設組合へ搬入されると処理施設の負担増になり、民間の浄化槽での適切な対応も必要である。大量に流れ出した油脂が下水道に障害をもたらすと罰則もあることから、厨房のある事業所にはグリストラップの設置や適切な維持管理を周知させる必要がある。また給食センターも維持管理面で改善していく必要がある。各関係課の所見を伺う。

**答弁** 島袋都市計画部長 グリース阻

集器設置義務の対象建築物が定められた場合は、定期に維持管理状況報告を求めよう検討する。

**答弁** 上門市民部長 各家庭からの油脂処分は一般ごみとして処分出来ることを周知し、事業所からの汚泥や油脂等の産業廃棄物は法律に基づく適正な処理を促していく。

**答弁** 三浦水道部長 飲食業や厨房のある事業者には水質基準に適合する排水を行うよう更に周知及び指導していきたい。

**答弁** 嘉手苅指導部長 現在の清掃状況でも問題ないが、今後は回数等の検討を行い保守点検及び清掃を含めた維持管理を行っていく。

**三 福祉行政について**

**質問** あんしん賃貸支援事業は様々な理由で賃貸が困難な住宅確保配慮者にとって希望の事業であり、しっかり取り組んで頂きたい。

**答弁** 山城福祉部長 障害者差別解消法の施行により、不当な差別的取り扱いが禁止となることから今後住宅確保配慮者が円滑に入居出来るよう関係機関と連携を図り取り組んでいく。

※他に「勝連城跡入場料について」「与勝中付近交差点の横断歩道について」「マイナンバーについて」「公共工事等に伴う最低制限価格について」質問しました。



- 一 マーラン船の「ヤンバルから与那原間帆走」実施状況について伺う
- 二 マーラン船に関連する事業の今後の事業計画を伺う
- 三 市職員の服務及び定員適正化計画について伺う
- 四 新市建設計画の新市における県事業関連の推進状況について伺う

**一 マーラン船の「ヤンバルから与那原間帆走」実施状況について伺う**

**質問** 事業実績を伺う。

**答弁** 赤嶺教育部長 「マーラン船、昔の航路をたどる！」と銘打って、操船技術の向上を目的に、国頭村安田港から与那原マリナーナまでの航海を実施し、国頭村の木炭、やんばる竹薪、本市のもずく、ぬちまゝす、ビッグ等の物資伝達を再現できた。

**質問** 成果を伺う。

**答弁** 赤嶺教育部長 今回の成果は3点あり、マーラン船が実際に300km航行できたこと。本市は船大工の造船技術だけでなく、帆走できる人材が確保できたこと。マーラン船が県内各地で大きく期待されたこと。

**二 マーラン船に関連する事業の今後の事業計画を伺う**

**質問** 課題を伺う。

**答弁** 赤嶺教育部長 勝連海洋クラブメンバー以外も操船でき、安定した利活用ができる体制づくりが必要である。

**質問** 今後の事業計画を伺う。

**答弁** 赤嶺教育部長 資料館での教育普及活動や体験航路の実施。学校教育や生涯学習で生きた教材として活用しながら、観光や地域おこしの素材として、関係部局と連携した活用を検討していきたい。

**一 マーラン船の「ヤンバルから与那原間帆走」実施状況について伺う**

**質問** 生涯スポーツ課が平成17年は12人、現在4人の配置である。適正化と言えるのか。

**答弁** 天願総務部長 生涯スポーツ課は業務委託や臨時、嘱託職員で業務対応している。

**質問** 適正化計画は実態に合った形でできないか。

**答弁** 天願総務部長 新たに計画策定するときは、業務の状況等も踏まえ、策定されるかと考えている。

**質問** 職員の健康管理について伺う。

**答弁** 天願総務部長 うるま市職員安全衛生管理規則に基づき衛生委員会を設置し、事業計画に基づく安全衛生生活を実施している。

**質問** 長期療養者の指導・対応を伺う。

**答弁** 天願総務部長 復職支援プログラムをもとに、ならし出勤などを通して早期職場復帰を目指し取り組んでいる。

**三 市職員の服務及び定員適正化計画について伺う**

**質問** 定員適正化による職員の増減を伺う。

**答弁** 天願総務部長 平成17年度は職員数1130人、現在は842人。職員削減は平成27年度から凍結している。

**四 新市建設計画の新市における県事業関連の推進状況について伺う**

**質問** 進捗状況を伺う。

**答弁** 喜納企画部長 県事業として18事業を盛り込み、概ね計画どおり実施着手している。

※他に「市臨時職員、嘱託職員等の休暇制度と処遇について伺う」を質問しました。





一 地方創生「地方版総合戦略」について  
二 住環境の整備について

おくだ おさむ  
奥田 修

一 地方創生「地方版総合戦略」について

**質問** 県版総合戦略、県人口増加計画改訂版の基本的な施策、方向性を伺う。

**答弁** 喜納企画部長 県は2050年の県全体の人口を160万人程度と見込み、自然増の拡大・社会増の拡大、離島・過疎地域の振興に関する取り組みの3つを施策体系に掲げ、地方創生に取り組む方針である。

**質問** 「市版総合戦略」人口ビジョン島しょ地域編(案)と取り組みについて、人口の将来展望の4項目(移住推進、結婚・出産、子育て環境の充実、若者の流出防止)に向けた仕事の創出、生活環境基盤の充実)は確定事項か。

**答弁** 喜納企画部長 島しょ地域編(案)は4つの基本目標を重点的に取り組み、次年度の新型交付金、一括交付金、その他の補助制度の活用を前提に検討していきたい。

**質問** 新型交付金による7事業を伺う。

**答弁** 喜納企画部長 島嶼地域移住・定住者向け情報整備事業、婚活支援事業、乳幼児多子世帯応援事業、島嶼地域活性化事業、麻疹・風疹対策事業、子育て健康応援ブック作成事業、認可外保育施設保育料助成事業。

**質問** 島嶼地域の公営団地や住居整備

(二戸建て、集合型の可能性を伺う。

**答弁** 喜納企画部長 公営集合住宅の整備は可能性を検討する。当面は空き家等を活用した環境整備を優先する。

一 住環境の整備について

**質問** 市道勝連6-4号線新規道路路整備の取り組みについて伺う。

**答弁** 宮城建設部長 道路局の補助事業では採択条件が厳しい。石油交付金の活用を考え、平成29年度の事業化に努力する。

**質問** 平安座地区下水道(流域下水道)の取り組みについて伺う。

**答弁** 三浦水道部長 本市では県の各種汚水処理整備構想策定後の平成28年度に整備計画を作成する予定で、平安座地区は同整備構想に含まれており、その事業年度にあわせて実施したい。

**質問** 県道238号線(比嘉〜兼久間)延長整備の取り組みについて伺う。

**答弁** 宮城建設部長 平成27年7月1日付、県中部土木事務所に意見照会を行い、県の見解は、県道として十分機能しており、現在延伸計画はないとのこと。それを受け、市では何らかの対策ができないか関係課と調整している。まずは道路計画に先立ち、想定される問題を整理するための基礎調査を行い、今後の対策を検討していきたい。

《 H27.12月定例会傍聴人数 》

12月 1日	0人
4日	0人
8日	0人
9日	4人
10日	2人
11日	5人
14日	8人
15日	6人
16日	3人
18日	0人
合計	28人

議会傍聴を歓迎



議場の案内図

議会傍聴の際には、議場傍聴席入口(5F)で受付してから入場してください。本会議は午前十時より開会されます。市民の皆様は議会傍聴を歓迎いたします。

## 平成27年12月第99回うるま市議会定例会議決結果

議案番号	案 件 名	提案者	議決日	議決結果
報告第 26 号	専決処分の報告について(うるま市庁舎建設工事(建築1工区))	市 長	12月4日	報 告
報告第 27 号	専決処分の報告について(うるま市庁舎建設工事(建築2工区))	//	//	//
報告第 28 号	専決処分の報告について(うるま市庁舎建設工事(免震工事))	//	//	//
報告第 29 号	専決処分の報告について(うるま市庁舎建設工事(電気1工区))	//	//	//
報告第 30 号	専決処分の報告について(うるま市庁舎建設工事(機械1工区))	//	//	//
報告第 31 号	専決処分の報告について(うるま市庁舎建設工事(機械2工区))	//	//	//
報告第 32 号	専決処分の報告について(平敷屋幼稚園増改築工事(建築))	//	//	//
報告第 33 号	専決処分の報告について(高江洲小学校屋内運動場増改築工事(建築))	//	//	//
報告第 34 号	専決処分の報告について(車両事故)	//	//	//
報告第 35 号	専決処分の報告について(車両事故)	//	//	//
報告第 36 号	うるま市教育委員会事務点検・評価の報告について(平成26年度事業対象)	//	//	//
報告第 37 号	専決処分の報告について(車両事故)	//	//	//
諮 問 第 2 号	人権擁護委員候補者の推薦について(藏當 博文氏)	//	12月18日	適 任
議案第 91 号	平成27年度うるま市一般会計補正予算(第3号) (補正額:628,739千円 補正後予算:55,994,300千円)	//	12月10日	原案可決
議案第 92 号	平成27年度うるま市国民健康保険特別会計補正予算(第3号) (補正額:2,621千円 補正後予算:22,771,704千円)	//	//	//
議案第 93 号	平成27年度うるま市介護保険特別会計補正予算(第3号) (補正額:6,728千円 補正後予算:9,056,022千円)	//	//	//
議案第 94 号	平成27年度うるま市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) (補正額:4,859千円 補正後予算:2,423,425千円)	//	//	//
議案第 95 号	平成27年度うるま市水道事業会計補正予算(第1号)	//	//	//
議案第 96 号	生涯学習センター建設工事(建築)請負契約についての議決内容の一部変更について (変更前金額:934,675,200円 変更後金額:991,321,200円)	//	12月18日	原案可決
議案第 97 号	指定管理者の指定について(うるま市コミュニティ防災センター)	//	//	//
議案第 98 号	指定管理者の指定について(うるま市学習等供用施設その他の施設)	//	//	//
議案第 99 号	指定管理者の指定について(うるま市伊計島老人憩いの家)	//	//	//
議案第100号	指定管理者の指定について(うるま市社会福祉センター)	//	//	//
議案第101号	指定管理者の指定について(うるま市みどり町児童センター)	//	//	//
議案第102号	指定管理者の指定について(うるま市なかさず児童センター)	//	//	//
議案第103号	指定管理者の指定について(うるま市いしかわ児童館(チャレンジ館))	//	//	//
議案第104号	指定管理者の指定について(うるま市屋慶名児童館)	//	//	//
議案第105号	指定管理者の指定について(うるま市宮城児童館)	//	//	//
議案第106号	指定管理者の指定について(うるま市農村環境改善センター等)	//	//	//
議案第107号	指定管理者の指定について(うるま市農水産業振興戦略拠点施設)	//	//	//
議案第108号	指定管理者の指定について(集落総合管理施設)	//	//	//
議案第109号	指定管理者の指定について(うるま市石川荷捌施設・漁民研修施設)	//	//	//
議案第110号	指定管理者の指定について(うるま市水産物鮮度保持施設)	//	//	//
議案第111号	指定管理者の指定について(うるま市商工業研修等施設)	//	//	//
議案第112号	指定管理者の指定について(市営住宅団地集会所等)	//	//	//



## 平成27年12月第99回うるま市議会定例会議決結果

議案番号	案 件 名	提案者	議決日	議決結果
議案第113号	うるま市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例 (個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する事項を定める条例制定)	市 長	12月18日	原案可決
議案第114号	うるま市部設置条例の一部を改正する条例 (組織機構の改編に伴う条例の改正)	//	//	//
議案第115号	うるま市税条例の一部を改正する条例 (地方税法等の一部改正に伴う当該条例の改正)	//	//	//
議案第116号	うるま市学習等供用施設その他の施設条例の一部を改正する条例 (田場地区コミュニティ供用施設の設置に伴う条例の改正)	//	//	//
議案第117号	うるま市手数料条例の一部を改正する条例 (指定地域密着型サービス事業者等の指定等の申請に係る手数料設定に伴う条例改正)	//	//	//
議案第118号	うるま市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及びうるま市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 (「国家戦略特別区域法及び構造改革特別区域法の一部を改正する法律の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備に関する省令」の施行に伴う条例改正)	//	//	//
議案第119号	うるま市学童クラブ条例 (うるま市学童クラブの設置に伴う条例制定)	//	//	//
議案第120号	うるま市附属機関設置条例の一部を改正する条例 (うるま市農業振興ビジョン策定委員会、うるま市いじめ問題再調査委員会及びうるま市いじめ問題対策審議会の設置に伴う条例改正)	//	//	//
議案第121号	うるま市消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例 (消防組織法に基づく消防団員の公務災害補償及び退職報奨金について定める条例改正)	//	//	//
議案第122号	沖縄県消防通信指令施設運営協議会規約の変更について (同協議会を設ける普通地方公共団体から、那覇市、浦添市及び本部町今帰仁村消防組合を減じること及び協議会規約の一部変更に伴う規約の変更)	//	//	//
議案第123号	うるま市都市公園を設置すべき区域の決定について((仮称) 桃原緑地広場)	//	//	//
議案第124号	うるま市都市公園を設置すべき区域の決定について((仮称) 勝連城跡周辺文化観光拠点)	//	//	//
議案第125号	うるま市市道路線の認定について	//	//	//
議案第126号	安慶名地区の住居表示の実施に伴う関係条例の整理に関する条例	//	//	//
議案第127号	うるま市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部を改正する条例 (安慶名地区の住居表示の実施に伴う当該条例の改正)	//	//	//
陳情第 26 号	平成28年度福祉施策及び予算の充実について(要請)	沖縄県社会福祉 施策・予算対策 協 議 会 会 長 湧川昌秀	//	一部採択
陳情第 27 号	太陽光発電施設導入費助成を求む陳情	兼箇段土地改 良 事 区 理 金 城 長 俊 邦	//	採 択

## 平成28年1月第100回うるま市議会(臨時会)議決結果

議案番号	案 件 名	提案者	議決日	議決結果
発議第 1 号	米国原子力潜水艦のホワイト・ビーチ寄港に反対する意見書	喜屋武 力 議員 他 9 名	1月13日	原案可決
発議第 2 号	米国原子力潜水艦のホワイト・ビーチ寄港に反対する抗議決議	//	//	//

## 平成28年2月第101回うるま市議会(臨時会)議決結果

議案番号	案 件 名	提案者	議決日	議決結果
承認第1号	専決処分承認について(うるま市税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例)	市長	2月5日	承認
議案第1号	うるま市職員の給与に関する条例及びうるま市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	//	//	原案可決
議案第2号	平成27年度うるま市一般会計補正予算(第4号)	//	//	原案可決
議案第3号	平成27年度うるま市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	//	//	//

## 米国原子力潜水艦のホワイト・ビーチ寄港に反対する抗議決議

昨年12月24日午前10時16分、米国原子力潜水艦ロサンゼルス級ブレマートンが休養・補給・維持目的のためホワイト・ビーチに入港し、約6日間の長時間にわたり接岸した後、29日午後2時に出港した。

今回の寄港で、昨年原潜寄港は23回目、復帰後526回目(復帰前47回)となっており、平成19年から寄港頻度が増してきた中、平成20年には過去最高の41回を記録するなど、寄港回数の増加が常態化している。

本市議会においては、平成20年8月に明らかになった原子力潜水艦ヒューストンの冷却水漏れ事故や同年11月の原潜プロヴィデンスの通報なし寄港、さらに、近年原潜の寄港が異常に増加していることについて、これまで日米両政府に対し、その詳細な説明と原潜を寄港させないこと等を強く求めてきたところである。

しかしながら、寄港増の要因については「米軍の運用上の理由」として詳細な説明がないままである。

東日本大震災から4年以上経過した今日でも、原子力発電所の放射能事故の影響が収束しない中で、原潜の寄港に伴う市民や県民の放射能に対する不安は日々増大している状況にあり、日米両国政府の責任は極めて重大である。

平成17年10月に「うるま市非核平和都市宣言」を議決したうるま市議会としても、引き続き国是である非核三原則を踏まえ、日米合同委員会において米国原子力軍艦の寄港に反対する旨の議題を取り上げ、日米地位協定第27条を適用して、今後いかなる理由があるにせよ、すべての原子力軍艦を寄港させないよう確実に改定することを強く求めるものである。

よって、うるま市議会は、市民の生命・財産と生活環境を守る立場からホワイト・ビーチへの度重なる原潜の寄港に対し、厳重に抗議するとともに下記事項について強く要求する。

## 記

1. ホワイト・ビーチへ米国原子力軍艦を寄港させないこと。
2. 米国原子力潜水艦の寄港については明確な説明責任を果たすこと。
3. 日米地位協定の抜本的改定を行うこと。

以上、決議する。

平成28年1月13日

沖縄県うるま市議会

## 抗議決議あて先

米国国防長官 駐日米国大使 在日米軍司令官 在日米軍沖縄地域調整官  
在沖米海軍艦隊活動司令官 在沖米国総領事

※意見書についても議決し、送付しています。

## 意見書あて先

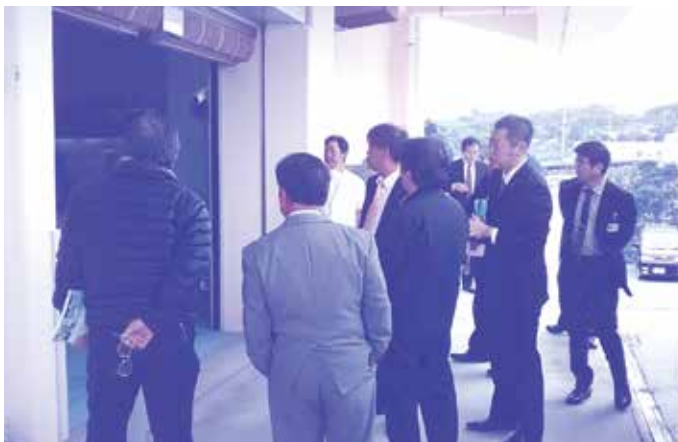
衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣  
沖縄及び北方対策担当大臣 外務省沖縄担当大使 沖縄防衛局長  
沖縄県知事 沖縄県議会議長



# 教育福祉委員会行政視察

平成28年1月19日、教育福祉委員会はうるま市立学校給食センター第一調理場及び第二調理場を視察研修しました。

研修内容は、うるま市立学校給食センター基本計画に基づく学校給食センターの統合についての考え方について研修し、第一調理場及び第二調理場の施設の現状及び運営状況などを視察しました。



# 新庁舎完成



平成27年12月26日、うるま市合併10周年記念と新庁舎落成の合同式典が市民芸術劇場で開催されました。式典終了後、新庁舎にて祝賀会が開催され、また、庁舎前の道路が歩行者天国となり、特設ステージでは市民参加による祝賀イベントが行われました。

## 議会事務局からのお知らせ

市民への情報提供及び利便性の向上を図るため、インターネットによるライブ中継及び録画中継を実施しておりますので、お知らせ致します。

なお録画中継の配信は、当該本会議終了後1週間以内に配信する予定です。



[ 2月定例会は2月24日(水)から開会しております ]